

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

事業所名:みらいずジュニア

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%	0%	限られたスペースでも安全に活動できるよう、児童や指導員の動線をあらかじめ考えている。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%	0%	0%	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%	0%	0%	玄関の階段のところに手すりが設置されていたりスロープがありバリアフリーになっている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%	0%	0%	送迎時だけでなく、学校訪問を行い、切れ目ない支援ができるように連携をとっている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	今回のアンケート以外にも、親御さんから頂いたご意見・ご要望については、日々のMTG内で職員間で共有し、業務改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	0%	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0%	0%	100%	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	0%	社内での研修の他に、外部の研修に参加する機会がある。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	ミーティング・振り返りでスタッフからの情報をもらいながら、一人一人のニーズに合った計画を作成に努めている。また、実際の活動の様子を見て、一人一人のレベル感や活動の難易度を確認し、改善すべき点等スタッフに提示しながら、より良い支援を提供できるようにしている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%	0%	0%	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	0%	支援が適切であるかどうか指導員間で話し合いその子の成長に繋がるようにミーティングなどで情報共有している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	0%	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%	0%	0%	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	個別のプログラムの内容、取り組み状況等を多職種で連携が取れるよう努めている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	支援前には必ず役割を確認し、職員自身が支援内容や対応に見通しがもてるようにしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%	0%	支援後は振り返りの時間を確保し、次回来所時職員間で共通の対応が出来るよう、共通理解に努めている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	100%	0%	0%		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画しているか	100%	0%	0%	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っているか	100%	0%	0%	送迎時だけでなく、学校訪問を行い、切れ目ない支援 ができるように連携を図っている。
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めているか	100%	0%	0%	
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等しているか	33%	33%	33%	
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けているか	83%	17%	0%	療育センター受診後の発達検査や心理検査などの結 果を保護者から情報共有いただいている。また、スタッ フ間で共有している。
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 害のない子どもと活動する機会があるか	0%	17%	83%	
	26	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 しているか	100%	0%	0%	
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っているか	100%	0%	0%	送迎時に、今日の出来事や頑張ったことだけでなく、出 来ようになったことや褒められたこと等も保護者に伝 えている。
28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っているか	17%	67%	17%	ペアレントトレーニングを行う体制はあるが今年度は開 催することができなかった。 今後継続して取り組んでいきたい。	
保護者へ の説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	運営規定や個人情報の取り扱い等については、契約 の時点で保護者に説明を行っている。 問い合わせなどあればその都度説明するなど対応し ている。
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行ってい るか	100%	0%	0%	必要に応じて、みらいずでの対応の仕方を、保護者にも 伝えることで、保護者自身の対応力の強化を図ること もある。
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援しているか	0%	17%	83%	
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応しているか	100%	0%	0%	
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信しているか	33%	67%	0%	会報では発信していないが、連絡帳やSNSで写真を載 せて実際の様子を見せたり、送迎時に頑張っていた事 を伝えるように配慮している。
	34	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	
	35	障害のある子どもや保護者との意思の疎通 や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っているか	0%	33%	67%	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
非常時等の 対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%	0%	0%	
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	避難訓練などの様子を連絡帳やSNSを活用し、発信することを心掛けている。
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	0%	虐待防止への研修を全体で行なっている。
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%	0%	0%	
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	0%	0%	
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	33%	67%	0%	